

～さようなら藤崎さん～

思い出の「県央縦断悠久ウォーキング」

日時:2018年3月24日(土) 天候:晴れ時々曇り 16000歩 約12km

集合:相鉄線海老名駅 10時

コース:海老名駅→相模国分寺・国分尼寺跡→弥生神社・龍峰寺→秋葉山古墳→星谷寺→鈴鹿明神社→龍源院→
円教寺→座間神社→相模線相武台下駅(解散)

参加者:吉越(L) 勅使河原 小作 神谷 森山 熊坂 奴田 小野里 青松秀 齊藤優 河野 清水正 長井 小山文
小山美 小島 松村 山川 丹後 平吹 志村 桑原 桑名 木村 村上 /一般:山浦和 計26名

2017年2月に亡くなった、副会長・藤崎久子さんが初めてリーダーを務めた、2004年3月13日の第46回例会コースを辿りました。彼女は神奈川ウォーキングクラブ創立以来の会員で、16年間にわたり副会長としてクラブの発展に大きな功績を残しましたが、今回は天国の藤崎さんと一緒にコースを歩きました。この日は朝から風もなく暖かい陽射しが県央に降り注いでいました。海老名駅前の七重の塔広場で、当時の機関誌に書いた初リーダーの苦労話を熊坂さんが代読。ここでご主人の挨拶があり、参加者を代表して勅使河原さんから花束が贈られました。ストレッチ・コース説明の後スタートです。手渡されたコース地図を見ると今日は殆どが寺社巡りで、海老名市・座間市・相模原市と3市を股にかけて歩くことになりました。住宅街からして結構なアップダウンがあり、遙か大山や連なる山々を眺めながら、高台にある秋葉山古墳でランチタイム。各自桜の下でお弁当を広げての“雅な宴”となりました！湧水の里座間に入ると、各所には清らかな流れがあり、緑の水草の中には所々にクレソンも見られ水質の良さが分かります。座間神社参道でクールダウンの後、相模線相武台下駅で解散しました。

枝垂れ桜が丁度満開でしたが、桜花に包まれ微笑んでいる藤崎さんの姿が目浮かぶような春の一日でした。

<フォトレポート 小島>



「鈴鹿明神社」満開の枝垂れ桜の下で全員集合。今日のコース内ではここの桜が最も美形でした。



海老名駅を出て七重の塔がある広場で集合。
(この塔は相模国分寺の塔の 1/3 の大きさです)



ここで吉越さんから故藤崎久子さんのご主人を紹介。
(わざわざ挨拶に見えられました)



初めてのリーダーを務められた感想が載った機関誌を
熊坂さんが代読し当時の心境を偲びました。



ここでKWCを代表し、勅使河原さんからご主人へ
天国の奥様へ届けと花束が贈られました。(拍手！)



本日のSL、神谷さんと森山さん。十分な下見で
今日は万全の体制、内容が濃いようです！



熊坂さんのストレッチで準備OK。塔をバックに
すると、何だか新興宗教の集会のようで・・・

※海老名駅周辺もかつての様相から一変し、近代的な商業都市へと変貌を遂げていました。小田急・相鉄・相模線と3路線が利用できることから、ベッドタウンとして東京や横浜方面への通勤圏内でもあることから、さらに発展が期待されます。



駅からほど近い相模国分寺跡。礎石が残っています。



資料館には当時の建物模型が展示され七重の塔も。



国分寺から近い所に国分尼寺跡があり、調査でここには金堂跡や講堂跡等が確認されている。



珍しい花がありました。熊坂さんにお任せ！



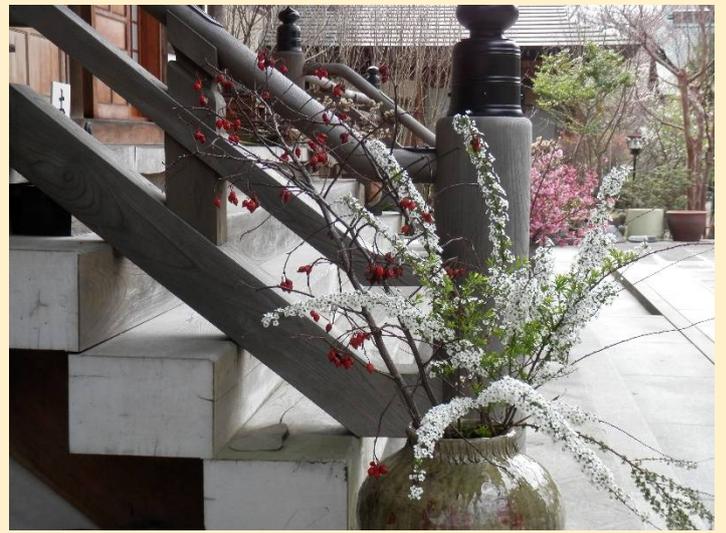
弥生神社の急階段。本日最初の上りです。



龍峰寺。室町時代初期に創建。元は清水寺（せいすいじ）。↑こちらがその当時のものかと・・・



趣のある山門です。この参道は何処まで続く・・・



お堂の脇には洒落た花瓶が。花心のある寺のようです。



裏手には枝垂れ桜と竹林。京都のような風情も。



休憩を終え出発。土曜日にしては静かな境内でした。



住宅街では卒園式。時期ですね。



常泉院。“見返りSL”は画にならぬ！



★常泉院：相模風土記には「金龍山と号し、曹洞宗、愛甲郡玉川村七沢広沢寺の末寺」と記されている。その前は今泉山福泉寺と称していた。この寺に今なお清水がわき出している”三日月井戸”と呼ばれる泉があり、常泉院の寺号はこの泉からきている。昔、弘法大師が持っていた杖で地面をポンと叩いたところこの泉が湧き出たという。(各地によくある伝説)



今日は正しい出方。表から入り裏から出た！（これ普通）



秋葉山古墳群に到着。ここには六基の古墳があります。



ここでランチタイム。桜の下で花見弁当・・・贅沢な！



いつもながら、差し入れのデザートが回っています。



桜がなくても旧交を温めて・・・まさか、お酒？



写真中央の人、メンバーではありません。（赤の他人！）

★秋葉山古墳群:秋葉山古墳群という名の由来は、第二号墳後円部頂上に火を防ぐ神を祭った「秋葉社」という祠があったため、第二号墳のことを秋葉山と呼んでいたのが古墳群全体の名称となったことによる。古墳群は座間丘陵の標高 75～80メートルの尾根沿いに、第一号墳から第六号墳の、計 6 基の古墳が確認されている。秋葉社があった第二号墳の後円部頂上は、標高 84.6メートルの海老名市最高地点である。第一号墳から第六号墳以外に近年の開発で消滅した古墳もあるようで、また尾根沿いに座間市内に入った場所にも古墳があるとの説もあるが未確認。



ランチ後桜の下で全員集合。この木はかなりお歳を召しておられるようで枝に元気が有りません！（我々は？）



吉越さんから元会員の山浦さんが紹介されました。



秋葉山古墳群は後方の丘の上になります。



お馴染みの星谷寺に寄りトイレ休憩です。



ここには七不思議が。この梵鐘も・・・どこが？



この「咲き分け散り椿」も七不思議のひとつ。



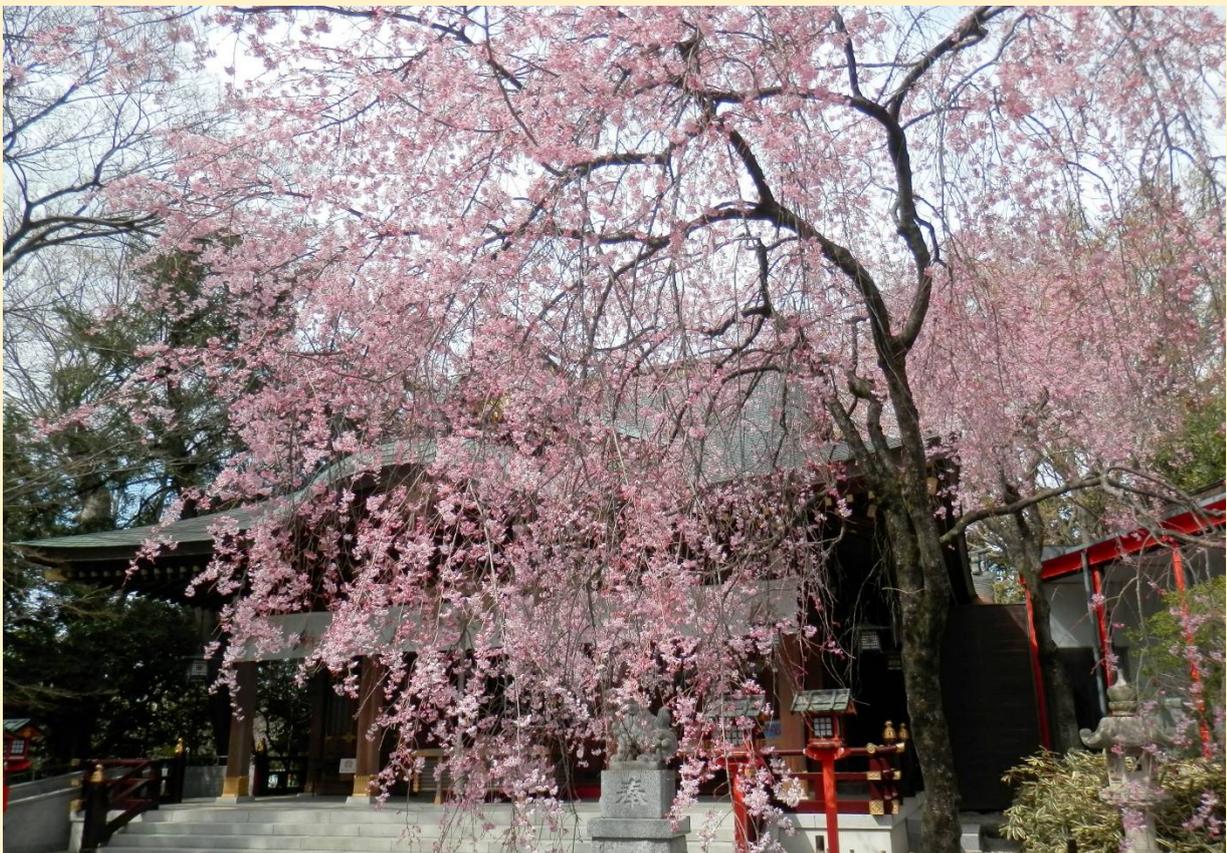
星の井戸も。他は探したが見つからず・・・(手抜き)



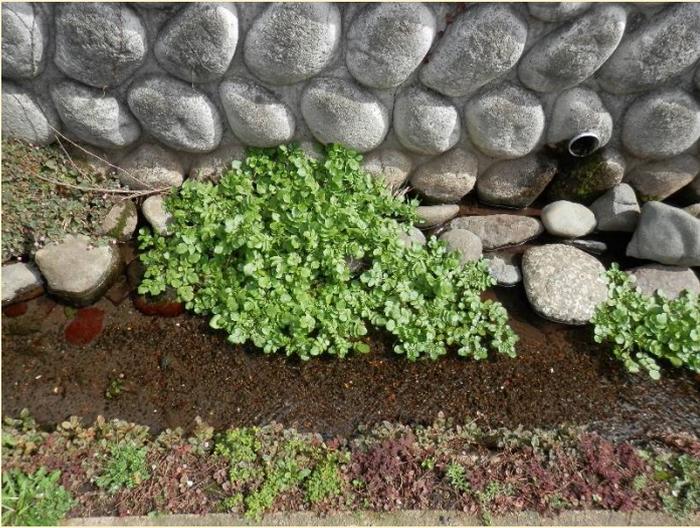
午後になってやや雲が増えて陽も陰り気味。



伊勢から流れ着いた神輿を祀った鈴鹿神明社へ。



本日一番の枝垂れ桜です。大木でもないものの高さがあって、枝ぶりが見事なものでした。



座間は湧水が豊富。流れにはクレソンも見られます。



清流にはホタルのエサとなるカワニナもいました！



流れの先には龍源院の小さなお堂が・・・



堂内にはこんなものが。へびに乗った弁財天？



これ達磨大師か？



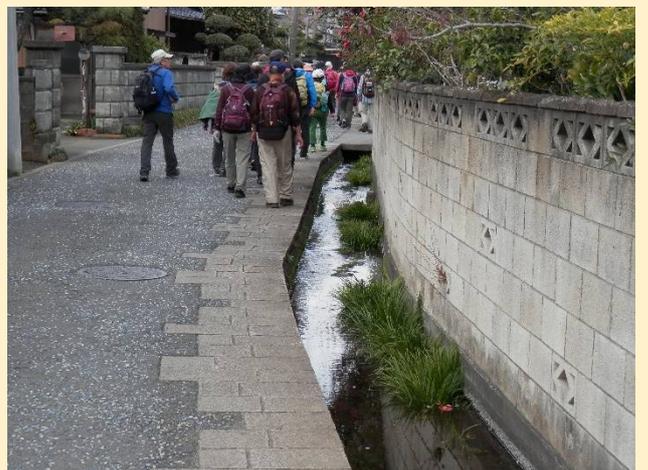
寺の由来の説明版。(老眼鏡を忘れた！)



ここに藤沢街道とは？



座間市は「湧水と歴史の里」が売りのようです。



住宅街にも清らかな流れがあります。



番神水公園を湧水に沿って。



何か見っていますが・・・



流れには緋鯉がいました。



円教寺。日蓮上人が龍ノ口の法難の折の刀工師鈴木忠勝が、日蓮に帰依し自邸を円教寺として創建したもの。



最後はこの急階段を上り座間神社へ。



クールダウンのはずが“大人の事情”で出来ず！



やむなく参道の両側に並んで・・・馬跳びのような！



相武台下駅前で吉越L&SL揃ってここで解散。



相模線は一時間に3本！ 皆さんホームでまったり。



暮れゆく大山が我々を見送ってくれました！（再見）

※藤崎さんの思い出:こうして藤崎さんが初リーダーを務めたコースを辿るウォークは無事終了となりました。新会員の方は名前さえ知らないと思いますが、私にとっては入会して初の下見で七沢森林公園にご一緒したのが初めでした。その時周りはベテラン会員ばかりで新人は私一人。終了後愛甲石田にお住いのW氏邸に招かれ、ずうずうしくも私も同席、そこで藤崎さんと楽しくお喋りしたのがつい昨日のように思い出されます。また私が企画した2013年9月の「多摩丘陵の森を歩く」や、2014年4月「新緑の小沢城址から」へも参加され、その明るく優しい笑顔が今でも浮かびます。趣味のパッチワークはプロの腕で、教室も主催されていたとか。私が諏訪湖畔の原田泰治美術館に行ったのも、その縁があったからかも知れません。

おそらく今頃は天国で、“花園巡りコース”のリーダーでも務めているのかも・・・(合掌)



END